

# 神戸昇天教会月報

〒652-0015 神戸市兵庫区下祇園町39番7号 神戸昇天教会

牧師 小南 晃 電話 (078) 361-4490  
 FAX (078) 361-4539  
 編集 「月報」編集委員 振替口座 01110-2-10517

## 今年の標語

「来てみませんか」と、誘える教会を目指そう。

## 努力目標

- ◎ 祈り合う交わり。
- ◎ 宣教協議会を開く。
- ◎ 教会ホームページとリーフレット作成。
- ◎ 地域との交流促進。

**聖語** 喜ぶ人とともに喜び、泣く人とともに泣きなさい(ロマ 12:15)。

# 逝去者記念の時を迎えて

～信仰のバトンを受け継ぎながら～

「こういうわけで、わたしたちもまた、このようにおびたしい証人の群れに囲まれている以上、すべての重荷や絡みつく罪をかなぐり捨てて、自分に定められている競走を忍耐強く走り抜こうではありませんか。信仰の創始者、また完成者であるイエスを見つめながら…」。(ヘブライ人への手紙 12:1-2)

司祭 ミカエル 小南 晃

## 11月は教会の 逝去者記念月です

今年も幾人かの兄弟姉妹を天国に見送ることになりました。そしてその方々のお名前を、11月4日(日)の逝去者記念礼拝の中で読み上げさせて頂くことになります。

天国に見送ってからまだ日時が少ない方々のお名前をそこで覚えるのは、ご遺族ならずとも、やはり寂しい思いは拭えません。

しかし、キリスト教信仰の核心部分は、まさにこの点にあります。聖パウロは、「兄弟たち、すでに眠りについた人たちについては、希望を持たないほかの人々のように嘆き悲しまないために、ぜひ次のことを知っておいて欲しい。イエスが死んで復活されたと、わたしたちは信じています。神は同じように、イエスを信じて眠りについた人たちをも、イエスと一緒に導き出してください(テサロニケ書 4:13-15)。」と語っています。

私たちが逝去者を覚えて記念するのは、まずは復活と永遠の命の信仰、「愛でにし者とやがて会いなん(聖歌518番)」という望みを堅くする時だということです。

## 信仰の先達たち

冒頭の聖書カ所、ヘブライ人への手紙12:1以下は、「こういうわけで」という言葉で始まっています。「どういうわけか」はその前の章の11章全体に渡って記されています。そこには旧約聖書の創世記から始まって旧約聖書中の、信仰に生きた人々の名前とその人生が列挙されています。登場する名前を挙げますならば「アベル、エノク、ノア、アブラハム、サラ、イサク、ヤコブ、モーセ、ラハブ」と9人の人々の名前とその信仰のエピソードがそこに語られています。そしてさらに11:32では、「これ以上、何を話そう。もしギデオン、バラク、サムソン、エフタ、ダビデ、サムエル、また預言者たちのことを語るなら、時間が足りないでしょう」と語っています。ヘブライ人への手紙の著者は、今生きている私たちがおびたしい信仰の証し人の群れに囲まれているということに心を向けさせます。

そして私たちも、この11月4日の逝去者記念式において、信仰の先達を覚えてお名前を読み上げて行く時、その方々の信仰の延長線

上に私たちの信仰生活があることを覚えるのです。

信仰生活はしばしば競技に譬えられます。その競技は個人種目であると同時に、リレー競技でもあるのではないのでしょうか。私たちは信仰を受け継いだ感謝と共に、それを他の人々に、また、次世代にリレーして行く使命を担っているはずなのです。

## 模範を残せし僕ら

逝去者記念祈禱に「わたしたちを憐れみ、よい模範を残した僕らの跡を踏み、主を愛し主に仕え、ついに彼らとともに永遠の喜びに至らせてください(祈禱書399頁)」という祈りがあります。良い信仰の模範というと、最初から最後まで、非の打ち所のない立派な人生ということなのでしょう。確かにそれも大切な模範です。しかし、どれだけ立派かというより、どれだけ主に信頼し、主と共に生きたかが、より大切な信仰生活の模範になるのではないのでしょうか。それは、時に弱さや、破れがあっても、そうした自分を主のみ前に隠す事なく、主に委ねて生きる、それが信仰生活です。そして、そうした後ろ姿が、他者に対して、また次世代に対して信仰のバトンを渡して行くことになるのではないのでしょうか。

この逝去者記念の時にあたり、私たち自身も、やがては世を去る存在であることを覚え、自らの人生と信仰生活について思いを巡らしながら、新たな1歩を歩みだせますように、祈り求めたいと思います。

## 定例集会

日 午前7時 早朝聖餐式  
 " 9時15分 教会学校  
 " 10時30分 聖餐式・説教  
 午後6時 夕の礼拝

火 午前10時30分 聖書研究会  
 土 午前10時30分 教会掃除  
 (ご奉仕をお願いします)